

令和7年度 協育による中津の子ども未来創造事業 実施計画書

(1) なかつスクスクプロジェクト

①学校支援活動〔全小・中学校〕

学校からの学習や学校行事支援、環境整備や見守り活動等の要請に対し、公民館を拠点に組織している「校区ネットワーク会議」で協議し、支援者の調整を行う。

②図書館支援〔1小学校、1中学校〕

学校支援活動の一環で、学校図書館司書が2校をかけ持ちしている学校に対し、児童生徒が毎日学校図書館を利用できるように、学校図書館司書が勤務日でない日に、学校図書館支援員1名を今津小学校と今津中学校に派遣し、読書活動の支援を行う。

③家庭教育支援〔1カ所〕

「どならない子育て法」を学ぶ、実践的な講座。講師は、児童家庭支援センターの専門員で、1週間に1回、計4回のプログラム（毎年1月～2月に実施）で、親子の良好なコミュニケーションを学ぶ。学習したことを家庭で実践し、その結果を報告しあう。また、参加者が安心して学習ができるように託児支援を行う。

(2) 放課後子ども教室

各小学校区で行われている放課後子ども教室は、コーディネーターが中心となり、未来創生塾と小学生チャレンジ教室を進めている。

①未来創生塾〔4教室、4小学校〕

放課後に小学校や公民館で、教職経験者等が小学生の補充的な学習支援を行う。

②小学生チャレンジ教室〔16教室、19小学校〕

放課後の水曜日や土曜日に、学校や公民館等で、地域の方が様々な体験の場を提供する。

③学びのススメ土曜塾〔10教室、10中学校〕

土曜日に生涯学習センターや公民館等で、教職経験者や塾講師の指導により、中学3年生に数学と英語の補充的な学習支援を行う。

(3) その他

①「中学校区ネットワーク会議」の設置

本事業を推進するために、市内 15 の公民館に「中学校区ネットワーク会議」を設置。学校支援活動や放課後支援活動について協議する。委員は校区の学校、家庭、地域の団体等の代表者で構成し、子ども達を地域ぐるみで育てる安全・安心な地域づくりを進めている。

②校区コーディネーターの配置

校区コーディネーター（各館長）と放課後子ども教室コーディネーターは、「校区ネットワーク会議」に所属し、学校、家庭、地域をつなぐパイプ役を果たしている。活動計画・報告書の作成、支援者・団体等との連絡調整、会議の開催、予算の執行等を行い、事業が円滑に推進できるよう、その職務を果たしている。

毎月行われる館長会議と合わせて校区コーディネーター会議を開き、中津市の学校支援活動等を情報共有している。また、年に 2 回放課後子ども教室コーディネーター会議を開き、日々の放課後子ども教室の巡回をとおして支援を行っている。

③中津市「協育」フォーラム

年度末に、中津市「協育」フォーラム（中津市地域協育振興プラン実行委員会主催）の開催。「地域ぐるみで子どもを見守り、育む地域づくりを目指す」ことを目的とした本事業の取り組みの一環で、学校、家庭、地域で子どもたちと関わっている教職員、社会教育委員、地域住民などが参加。内容は、中津市教育委員会教育長表彰、テーマに即した事例報告、グループで熟議を行う。